

参考消息（新・6号・20121018）

「反日デモ」は中国国内の権力闘争がもたらした、という見方があるが、筆者はそれに同意しない。しかしこのデモが第18回党大会の進む方向や、薄熙来の処分といった国内政治に意外と影響を及ぼしているようだ。

反日デモのもたらした政治的影響

今回の「反日デモ」の主要な参加者はどういう人たちだろうか。大学生が主流でないことは明らかになった。母校の華東師範大学のL副学長の話によると、2005年のデモのときは大学の幹部はみな玄関に貼り付けて、外のデモに合流しようとする無数の学生を押し戻すのに苦労したが、今回、大学の玄関に幹部や職員を繰り出す必要はなく、大学生の大半は外に出なかった、という。

今回のデモ参加者の主流は、いつもネットで過激な言論を展開する「憤青」以外に、日本のことをほとんど知らないが仕事や生活面で不平等と感じる低所得層（ほとんど彼らが焼き討ちをした）だと見ることができる。実はもう一つの層が陰で影響力を成している、当局を警戒させていることが最近になって分かった。それは文革、薄熙来を支持する「左派」たちだ。デモ行進中に毛沢東の画像を多く掲げたのは主にこの層によるものと中国の記者から教わった。

香港発行の『亜洲週刊』10月14日号に「薄熙来留下的政治遺産」と題する解説が載った。

http://www.yzzk.com/cfm/Content_Archive.cfm?Channel=ag&Path=223190271/41ag3.cfm

有料サイトなので全文は読めないかもしれないので、ここで一部引用する。

在今年九月的全國多城市反日大遊行中，人們驚恐地看到了統一印刷的毛澤東畫像，高喊「毛主席，我們想念您！」的群眾成千上萬地走上街頭。他們以懷念毛澤東的方式抗議現政府對日不gou強硬，借機洩憤製造社會混亂與恐慌，表達的與其說是反日與崇毛，毋寧說是對如今的當權者的否定。而從幾天的打砸搶燒情況看來，這個國家的最高層似乎並不能有效控制這樣的局面。

薄熙来の支持者が「毛沢東支持」を借りて現体制への不満を表明していると中央指導部で受け止められた模様だ。それで、当初、薄熙来の処分は党内に止まり、党籍も保有されると見られていたが、ふたを開けると、予想以上にその追及が厳しくなっていることの説明がつく。反日デモ以降、指導部内はそれまでにあったと考えられる様々な意見が統一され、薄氏の罪を徹底的に暴露することによって、薄・毛路線への迷信を徹底的に打破しようとのコンセンサスが達成されたと考えられる。

デモは同時に、国民が普遍的に不満をもつ政治と社会の問題に対して無視、後回しが

許されないとの政治改革への緊迫感、促進力にもなったようだ。

亜洲週刊の同記事はこの側面についても、次のような専門家の意見を紹介した。

内地『共識網』負責人周志興認為，在現有的制度土壤裏，「薄熙來一定還會再長出來！」他評論道：「為了避免這樣的現象，在目前總的權力結構不能改變的前提下，要對官員管理體制作相應的改造，從任命、監督到罷免，要有切實可行的辦法。例如，官員的財產公布問題，能不能從新提拔的官員開始實施？例如，能不能更加充分利用網絡的監督力量，等等。」

第 18 回党大会をめぐる政治改革促進の動向

薄熙來問題の処理に関してはすでに結論が出たようだ。

薄熙來案党内程序結束 書面検討已内部伝達

<http://china.dwnews.com/big5/news/2012-10-16/58906497-all.html#page1>

一方、薄熙來問題の摘発を受けて、中国のマスコミ、学者の間で、政治改革にもっと大胆に着手せよと呼び掛ける声が高まった。

BBC 中文網 121012 十八大前中国出現政改呼声

http://www.bbc.co.uk/zhongwen/simp/world/2012/10/121012_china_analysis_shibada.shtml

多維新聞網 121017 にもこのような新しい動きが紹介されている。

壯士斷腕 中共稱加強權力制約體現純潔性

<http://china.dwnews.com/big5/news/2012-10-17/58910753.html>

それにしても、次期政治局常務委員 7 人の候補者がなかなか決まらないのはやや異常だ。鄧小平のような鶴の一声ですべてを決めるカリスマがいなくなったのも一因であろう。中国では政治局常務委員になって初めて「党と国家の最高指導者」にランクされることもあって、水面下の駆け引きは相当激しいようだ。

政治改革の機運が高まり、一方、常務委員の候補者が絞れない状況下で、7 人の枠に対して 8 人か 9 人の候補者リストを提示して中央委員全体による「差額選挙」が行われる可能性もあると大胆に指摘する記事も出た。

多維博客 121016 十八大常委差額選挙，薄熙來審判尚需時日

<http://blog.dwnews.com/post-246315.html>

それによると、今回の党大会における中央委員、候補委員の選挙では差額選挙の比例は 3 割にもなっているとのこと。それが事実であれば、13 人の候補者リストから最後に 10 人しか当選しないことになり、中国ではかなり厳しい選挙になりそうだ。

ついでに、中国経済の謎と「維穩費」についても二つの資料を紹介する。

経済成長率がかなり下がっているのに、政府はなぜ 08 年のように刺激策をとらないのか。FT の記事は三つの可能性を挙げているが、筆者は以下の政府判断による可能性が最も高いと見る。

FT 中文網 121016 中国経済増長可能継続放緩

<http://www.ftchinese.com/story/001046986>

過去 6 个月以来、最令人吃惊的一点是，中国中央政府不愿意采取更多举措阻止经济增长放缓。

政府已得出结论，保持较低的经济增长率对中国有利。这种观点认为，中国中央政府从 2008 至 2009 年的刺激方案中吸取了教训。虽然巨额支出在短期内非常有效地支撑了经济增长，但这种做法只会加剧经济对投资的依赖，变得更加失衡。

経済構造の調整、産業構造の高度化が最も優先された判断によるもの、という。

一方、数年前から、中国の国家予算に「維穩費」があり、その金額は国防費よりも大きい、との説が独り歩きしている。それが本当なら、中国社会はいかに不安定で一触即発かを裏付けるものになる。しかしその表現や中身についてかなり誤解があると中国で説明が行われているが、日本では知らない人も多いようで、以下の記事を参照されたい。

財政部駁斥中国維穩經費超 7000 億報道

<http://economy.caixin.com/2012-03-07/100365047.html>

「維穩費」の正式名称は「公共安全支出（予算）」で、公共衛生、公共交通、建築の安全、食品安全など多くの分野を含めるものだとのことだ。

日中関係に転機が生まれるか

釣魚島（尖閣）問題をめぐる紛争は国家威信、プライドをかけた外交闘争に発展しているようだ。それぞれの世論が自国の考えだけが正しい、という風潮がある中で、両国とも民間において、「独立思考」を呼び掛ける動きが出ている。

日本では大江健三郎さんはじめ、多くの方が署名する

「領土問題」の悪循環を止めよう！——日本の市民のアピール
が発せられている。

<http://peace3appeal.jimdo.com/アピール本文/>

同時にその HP の掲示板に多くの市民による感想、コメント、提言が書き込まれている。それを読んで多くの啓発を受けたが、一読を勧める。

<http://peace3appeal.jimdo.com/>

それに対して中国の民間学者の間でも同じような呼びかけが出ている。日本の新聞でも報じられたが、その呼び掛けの内容についても是非読んでいただきたい。

讓中日关系回歸理性——我們的呼吁

<http://opinion.dwnnews.com/big5/news/2012-10-04/58886270-all.html#page1>

日中間の「互動」（連動）がこのようなアピール、呼びかけに現れるだけでなく、村上春樹の記事と中国作家閻連科の呼応にも現れており、民間の連動の拡大に日中関係の新しい可能性を感じた。

国防大学の少将、著名な軍事戦略専門家徐焰が広東で発行する「同舟共進」誌 2012 年 10 月号に「対日関係の処理に『大手筆』（巨視的、戦略的、との意味）」を寄稿した。中国の軍人はみな好戦的、とのイメージだが、冷静な意見も多い。その論文は多維網でも読めるので、下記に紹介する。

徐焰：「處理對日關係需要大手筆」

<http://opinion.dwnnews.com/big5/news/2012-10-18/58910765-all.html#page1>

なお、中国の著名学者が執筆した、中国のナショナリズムに関する鋭い背景、心理分析の好論文も、中国の友人から勧められたので、ここに紹介しておきたい。

蕭功秦：民族主義是否構成對人文價值重建的挑戰

<http://www.21newyouth.net/viewnews-10700.html>

最後に自己 PR だが、この 10 月に『中国外交 苦難と超克の 100 年』を PHP より上梓した。21 世紀の中国外交を見る上でその歴史的な体験と対外的思考様式の形成過程を知るのが不可欠と提起してみた。ご批判いただければ幸いです。